

算数的活動 第6学年

〔A 数と計算〕

A (1) 分数の乗法・除法

ア 分数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動

●分数×分数の問題場面を図や数直線を用いて表し、分数をかけることの意味を考える活動。

例) 1d lで板を $\frac{4}{5}$ mぬれるペンキがあります。このペンキ $\frac{1}{2}$ lでは板を何mぬれますか。
→分数×整数の学習から、同じ問題を使い問題場面のイメージをもてるようにする。□を用いて数字を入れる中で、既習との共通点や相違点を明らかにしながら、数直線に表現し演算決定する。

●言葉、数、式、図、数直線を用いて計算の仕方を考える活動。

→図や数直線を用いながら、自分の考えを明らかにし、ノートに記録していく。既習の分数×整数や分数÷整数の学習と関連付けて考える。

●言葉、数、式、図、数直線を結び付けながら、分数のかけ算の意味や計算の仕方を説明する活動。

→言葉、数、式、図、数直線を用いて、自分の考えを論理的に説明したり、相手の考えを読み取ったりする活動をしていく。考え方や表現方法を比較する中から、共通点や相違点を明らかにし、分数をかけることや計算の仕方についての意味理解を深める。

<表現力を鍛えるポイント>

・自分の考えの根拠を、言葉や図、式、数直線と結びつけて説明したり、ノートに記録したりする。

<思考力を鍛えるポイント>

・既習の分数×整数、分数÷整数と結びつけながら、根拠を明らかにして考え、分数の計算の仕方を見つけ出す探求的な活動にする。

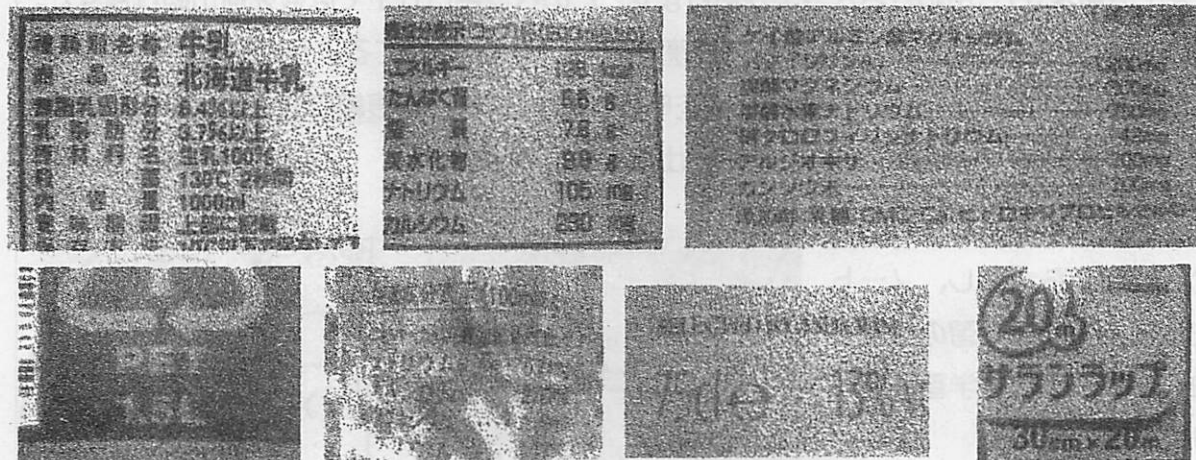
〔B 量と測定〕

B (5) 量の単位の仕組み

イ 身の回りで使われている量の単位を見付けたり、それがこれまでに学習した単位とどのような関係にあるかを調べたりする活動

●身の回りで使われている量の単位を見付ける活動

例) 児童の身の回りでは、飲料などの量 (ml や l) 薬の成分表 (mg) 菓子の量 (g) など



他にも、トラックの積載量 (kg や t) タンクローリーの容量 (kl) などがある。

●これまでの単位を振り返りながら、メートル法の単位の仕組みについて考える活動。

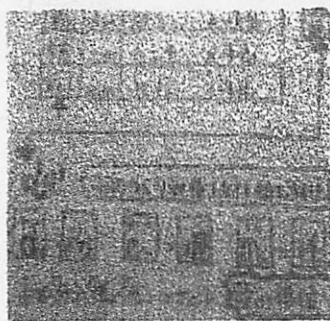
例) メートル法が十進法の仕組みによって単位が決められていることや、基本単位を基にして単位が作られる仕組みをもっていることを知る。

ミリ (m)	センチ (c)	デシ (d)		デカ (da)	ヘクト (h)	キロ (k)
1/1000	1/100	1/10	1	10倍	100倍	1000倍

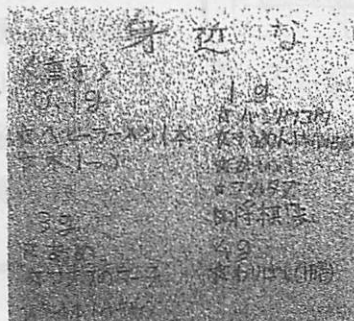
●これまでにメートル法の仕組みと身近な単位との関係を考える活動。

例) 薬の成分表に mg が使われているが、g に m がついていることから、g の 1/1000 の関係になっていると考えることができる。

●単位について自分なりにまとめたり、身の回りから単位の量感を身につけたりする活動。



例) 学習のまとめに長さや容積の単位の漢字や昔の単位などを比較して考える活動。



例) 身の回りの O g を探して、単位や量感を身につける活動。

〈表現力を鍛えるポイント〉

・身の回りにある量の単位を見付けたり、これまでの単位をまとめたりする活動から、メートル法の仕組みに気づくようにする。

〈思考力を鍛えるポイント〉

・単位の仕組みから、メートル法のよさに気づき、説明できるようにする。